

母校OBらで日野レスリングクラブを結成 めざせ東京五輪、滋賀国体

同窓会報
溪泉

第 7 号

題 字
住井前同窓会長

発行者
日野高等学校溪泉同窓会
滋賀県蒲生郡日野町上野田150

印刷所
株式会社サラト
姫路市北条宮の町 172
TEL 079-284-1380

幼少時からの一貫した指導を実現

母校レスリング部の活躍については、これまでから本紙でも何度も取り上げてきましたが、今年1月、滋賀県で初めて小中学生を対象にしたレスリング大会が日野町で行われ、県内外から12チーム、107名の参加があり、盛大な大会となりました。

この大会を開催するにあたって、以前から活動していたスポーツ少年団など幼少時から成人までのいくつかの指導組織を一本化し、「日野レスリングクラブ」が結成されました。

結成にあたっては、歴代総数250人を超える本校レスリング部OBの努力や町行政、商工会などの支援がありました。

会長には昭和58年（1983年）の本校赴任以来一貫して指導し



てこられた南敏文先生（59・大津市在住）が就任。副会長には教え子1期生の園田崇さん（昭61卒）いづれも全国大会で活躍の巧・新・平3兄弟の父親、町内徳谷（在任）が選出されました。

他にも事務局をもつ高橋明善さんは平成3年卒。各コースの代表者も、幼児コースに清水隆之さん（平13卒）、スポーツ少年教室（小学生）に門坂仁さん（同）、わたむきジュニア（中学生）に山口光通さん（同）、町レスリング部（成人）北岡秀王さん（平15卒）をはじめ、コーチ陣にも加納和彦さん・昭彦さん兄弟（平15・18卒）や女子の新海真美さん（平16卒）などが顔をそろえています。

これらのスタッフで幼少期から一貫した指導で選手育成に励むとともに、レスリング以外でも子どもたちが楽しめるイベントを取り入れ、豊かな心や社会性を身につけられることを願っています。

2020年の東京五輪をめざす園田新さん（平25卒）、平さん（平26卒）を先頭に、清水博之さん（平16卒）や倉本一真さん（平17卒）らも有望です。

さらに、2024年には二巡目の滋賀国体が予定されており、日野レスリングクラブから活躍する若い選手をみんなまで応援していきたいものです。

クラブの指導理念は「一念通天」。レスリングでの活躍は地域の活性化にも貢献していく——同窓生の熱い思いが着実に実現しつつあります。



